

モニタリング結果報告書

施設名 : 県立四季の森公園

指定管理者 : 横浜緑地・西武造園グループ

施設所管課(事務所名) : 横浜治水事務所

(平成21年度 上半期)

管理運営状況総括

1 月例報告書によるモニタリングの概況

報告月	受理日	確認通知日	備考(確認事項等)
4月	5月11日	5月29日	月例報告書・日報・現場確認
5月	6月10日	6月30日	月例報告書・日報・現場確認
6月	7月10日	7月30日	月例報告書・日報・現場確認
7月	8月14日	8月31日	月例報告書・日報・現場確認
8月	9月10日	9月30日	月例報告書・日報・現場確認
9月	10月9日	10月27日	月例報告書・日報・現場確認

2 指定管理者の選定理由にある取組み等の実施状況

(1) 提案内容の達成度

A : 提案を上回る B : 提案どおり C : 提案を下回る

(2) 実施状況等

指定管理者の選定に際して、サービスの向上や利用促進の観点から提案された各取組み等について、提案内容の要旨とそれに対応する形で実績を記載する。

<提案内容の概要>

四季の森公園は、市街地に残された貴重な自然樹林や雑木林を有する風致公園であり、県民とともにこの自然環境を保全しつつ、里山体験や四季折々の自然とのふれあいを提供できる「ふるさとの森」「レクリエーションの森」を目指して整備されていることから、公園内に点在している里山要素やレクリエーション要素の「質」を高めるとともに、さらに里山を補完する要素を取り入れ、融合させることで、里山景観・里山利用・里山体験などの「密度」を高めていきます。そして、このような里山が凝縮された公園内をめぐる遊ぶことで、里山について楽しみ、深く知ることができる里山フィールドミュージアムとして発展させ、県民の方々に里山の魅力を体験して頂きます。

<実施状況>

- ・4月 四季の森公園まつり 22,000名
地元寺山のお囃子、野外ステージでの公演(吹奏楽、踊り、歌謡、草笛等)、公園を写した写真の展示、園内を巡るクイズラリー、炭焼き小屋の公開、ボランティアによるクラフト教室、地元商店街・自治会の模擬店、野点、ボーイスカウトの野外教室、横浜市水道局・緑郵便局の販売、防犯協会、安全協会、緑警察署によるミニパトカー、白バイの展示試乗など、地域や関係団体など多くの協力を得て実施した。
- ・6月 ホテルまつり(13・14・20・21日の4日間) 28,400名
駐車場と運営管理時間を延長し、四季の森公園のホテルを観賞していただいた。

毎年開催されてきた催し物も例年どおり開催され、今年も大勢の来園者に喜ばれた。
・ボランティア団体「炭焼き四季の会」「四季の森里山研究会」「四季の森公園稲つくりの会」「全国森林インストラクター」等との協働で「炭焼きと施設の見学」「さくらの豆知識」「田植え」「身近な草花たち」等多数のイベントが開催され、里山について楽しみ、深く知ることができる里山フィールドミュージアムとして県民の方々に里山の魅力を多少なりとも体験して頂く機会を設けることができ、利用促進が図れた。

3 収支状況

(単位：千円)

	収入額				支出額	収支差額
	指定管理料	利用料金 (前年同月料金額)	その他収入 (前年同月料金額)			
年間予算額	90,259	78,330		11,929	90,259	0
上半期計 (a)	47,264	39,797	5 (0)	7,462 (0)	41,835	5,429
4月	8,308	6,818	1	1,489	6,409	1,899
5月	8,195	6,668	0	1,527	6,955	1,240
6月	8,139	7,111	0	1,028	7,222	917
7月	8,040	6,951	2	1,087	9,024	△ 984
8月	7,276	6,362	1	913	5,661	1,615
9月	7,306	5,887	1	1,418	6,564	742
下半期計 (b)						
合計 (a+b)	47,264	39,797	5 (0)	7,462 (0)	41,835	5,429

1 指定管理者の収入を記載する(県の収入である「使用料」は含まない)。
 2 「その他収入」は、都市公園の駐車場収入、雑収入、寄付金収入など指定管理料と利用料金以外のすべての収入を記載する。

収支状況に関する意見等

- ・半期計欄の収支差額が、収入額又は支出額のうち低い方の額の1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。
- ・また、収支差額に1割以上プラスが生じた主な理由が、人件費の削減である場合は、年度協定における人員配置計画と比較し、合理性が認められるか否かを記載する。
- ・年間予算額の収支が均衡していない場合は、その理由を記載する。

収支の状況は、収入実績が計画に対して101.0%と概ね計画どおりであり、支出実績が計画に対して89.4%と計画を下まわっている。12ヶ月を均等に割り振っているため、若干収支差が生じているが、計画的に執行している。なお、指定管理者には今後の執行予定も含め、収支計画に2割以上の変更を生じる場合には、早めに変更申請を提出するよう指示した。

(今期に行った資本的な収入及び支出の状況)

	内容	金額(千円)
収入の状況	なし	0
支出の状況	なし	0
積立等の状況	なし	(期首)
		(期末)

収入の状況：定期預金の取り崩し、借入れによる収入があった場合等は、その旨を必ず記載する。
 支出の状況：車両の購入、施設の増改築、また定期預金の積み立てを支出に含めた場合等は、その内容を必ず記載する。
 積立等の状況：積立・借入れ等がある場合は、その内容(施設の増改築のための積立・借入れ、定期預金等)、当該期首及び期末の金額を必ず記載する。

4 利用状況

	利用者数	前年同月利用者数	前年対比増減率
上半期計 (a)	384,584人	340,036人	13.1%
4月	91,860人	68,525人	34.1%
5月	58,211人	50,730人	14.7%
6月	82,825人	90,266人	△ 8.2%
7月	46,270人	49,183人	△ 5.9%
8月	55,336人	41,109人	34.6%
9月	50,082人	40,223人	24.5%
下半期計 (b)	0人	0人	
合計(a+b)	384,584人	340,036人	13.1%

利用状況に関する意見等

半期計欄の前年対比増減率が、1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。

半期計欄の前年対比増減率が、1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。

※ 不況に伴い出費を極力抑えるため、遠出をせずに身近な公園の利用が増加しているものと思われる。

5 苦情・要望等の状況 (施設受付分)

報告月	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	メール	アンケート	
4月	20				11	31
5月	25	1			47	73
6月	4	2			11	17
7月	5				23	28
8月	2	2			19	23
9月	4	1			17	22

(施設所管課受付分)

報告月	口頭	文書	合計
4月			
5月			
6月			
7月			
8月			
9月			

6 特筆すべき苦情・要望等及び対応状況

類似の苦情や要望が多く寄せられたもの、苦情や要望をもとに対応した取組みが利用者に評価されたもの、苦情や要望のうち対応したいと考えるが、諸般の事情により対応できないものなどを記載する。

分野	概要	対応状況
施設・設備	・トイレを洋式にかえてほしい。	身障者トイレの使用と改修を検討
	・	
職員対応	・接客が悪い。	接遇に努める。
	・	
事業内容	・	
	・	
その他	・犬の糞	糞の速やかな始末。園内放送
	・	

7 事故や不祥事等の発生状況

利用者や職員が死傷した場合、業務の実施において法令違反等による指導や処分を受けた場合及び個人情報や公金の管理等において不適切な取扱い等があった場合は、その概要と対応状況を記載する。なお、利用者の死亡事故や個人情報の流出等、重大な事故や不祥事が発生した場合は、行政システム改革推進課に任意の様式により速やかに報告書を提出する。

発生日	概要・対応状況等
5月 28日	雨で人気がない公園の奥で、女性にいたづらをしようとした事件発生（巡回強化と不審者注意看板の設置）
8月 13日	女子トイレに出入りする不審者を来園者が目撃、不審者を警察が署に連行（巡回強化と不審者注意看板の設置）
月 日	

8 随時モニタリングの実施状況

事故や不祥事の発生等に伴い、施設所管課が随時モニタリングを実施した場合は、調査内容や結果を記載する。

実施日	対応者等	経緯・調査内容	調査結果
月 日	特になし		
月 日			

9 上半期の所見等

1～8の各項目の状況等を踏まえ、指定管理業務をより効果的・効率的に推進する観点から、反省点や改善策等を記載する。

指定管理者	収支計画表の計画額が、12ヵ月の均等割で各月の金額を設定しているため、実態管理（実績）とそぐわない面があるため、H22年度以降改善する必要がある。日頃からの注意や点検で防げる事故が多いことをスタッフに徹底。人目の届かない危険（場所、時間帯）があることを再認識し、来園者の少ない日の巡回強化と不審と思われる方には、特にしっかり顔を見て挨拶するようにスタッフに伝達。犬に関する苦情が多いことから、マナー向上のため、ドッグスクールを2回開催。
施設所管課	収支計画表の計画額が、12ヵ月の均等割で各月の金額を設定しているため、実態管理（実績）とそぐわない面があるため、H22年度以降改善する必要がある。利用者満足度調査からも分かるように、スタッフの対応について「接客態度が悪い」「ぶあいそう」との意見を真摯に受け止め、積極的に改善を図る必要がある。また、維持管理の面から見ると公園のメインとなる場所を優先して作業を実施するとともに、作業の適期も逃さず計画的に実施してもらいたい。